

『チーム アライグマ』における埼玉県内アライグマ生息実態調査ならびに高校生によるシンポジウム開催・県内の他の外来生物（無脊椎動物）についての研修ならびに調査

アライグマを探せ!

チーム アライグマ

自然生態系変化への危機感から、調査を開始

もともと北米に住むアライグマだが、国内で野生化が進み、2006年には全都道府県で野生のアライグマが確認されている。日本で天敵がないため急速に増え自然生態系に影響を与えるほか、農業被害や住居被害などを引き起こしている。

川越女子高等学校の矢野光子教諭は、急激な都市化とアライグマなどの外来生物の増加による自然生態系の変化に危機感をいだき、川越女子など埼玉県内の10の高等学校と東京の私立中学・高等学校で、アライグマの合同研究チームを2014年に立ち上げた。

活動の中心は生物部と科学部の生徒たち。まず400を超える地点で、アライグマの生息実態調査を実施した。寺社などアライグマが出現する場所で、爪痕を調べて記録するのだ。



早稲田大学でシンポジウム開催



埼玉県立 川越女子高等学校



●実施担当

矢野光子 教諭

●活動のモットー

高校生が自分たちの目線から外来生物問題を考え、主体的に活動することを大切にしている。チームでの学びから社会に様々な発信をしたい。

学校概要

創立100年を超える進学校。地元では「川女」の愛称で呼ばれる。「自主・自律の精神」に基づく校風の下、学校行事も盛んな文武両道校。

設立：1906年
生徒数：1,139名
所在地：埼玉県川越市六軒町1-23



校内課題研究発表会



チーム アライグマの中核「生物部」



●学会での研究発表、協働活動、環境問題への意識、倫理観への考察も

アライグマを捕獲したデータと爪痕のデータを比較し、生息状況を詳しく把握できた。爪痕データは研究会や学会などで発表したほか、環境省生物多様性センターでも活用された。これらによって、当事者意識を持ち活動に取り組むことができるようになった。2年目からは、外来生物問題を広く一般の人に伝える活動を行った。爪痕調査研修、シンポジウム「アライグマを通して考える外来生物問題」などを開催した。

研究成果は生物学関連の学会などで研究発表をして、話題を呼んだ。本活動は学問的な研究だけでなく、チームをつくって協働する研究のあり方、環境問題への意識の醸成、人間の倫理観への考察にまで踏み込んできた。その結果、生徒らが将来どのような社会を構築していきたいのかといった問題を考える一助となっている。(平成27年度プログラム助成)

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団

〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階 電話:03-5719-2125

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索